

# 溶岩に捕えられた石

岩石名

変成石灰岩 Crystalline limestone  
(へんせいせっかいがん・だいらせき)

時代 中生代白亜紀

地質区分 イドンナップ帯

産出地 剣淵町弥栄川



## 解説 ハワイのような海山



この赤い石灰岩は、剣淵町東部の高速道路東側の露頭にある中生代の緑色岩体から発見されました。緑色岩の中に変成された石灰岩（晶質石灰岩）が含まれていたのです。緑色岩は玄武岩が変成を受けた岩石ですが、ハワイのような海洋島の玄武岩質溶岩が噴出した際に、周囲の石灰岩（サンゴ礁だったもの）を巻き込み、熱変成されたものと思われます。このように、溶岩が周囲のものを巻き込んだものを「ゼノリス（捕獲岩）」といいます。その後この海洋島は海洋プレートとともに海溝付近に運ばれ、付加体となったのです。このあたりは中生代はハワイのような環境だったということになります。このような海山起源の付加体は、剣淵、和寒、士別市武徳などで観察されます。

## ゼノリスの観察

溶岩が火山内部の火道を上昇したり、噴火して流れ出すなど、溶岩が流動するとき、周囲にあった岩石などは、流れる溶岩の内部に巻き込まれてしまいます。左の写真の岩石の構造は、このようにしてできたものだと考えられます。外側の岩石が溶岩であり、内部の岩石は巻き込まれた岩石ですから、内部の岩石の方が古いものであることがわかります。このように、ゼノリスの観察から、火山の周囲がどのような地質であったのかを推定することができるのです。

このように、ゼノリスは多くの火山岩に普通に見られる構造であり、火山岩を見るときは、「ゼノリスはないか？」という目で、気をつけて見てみましょう。案外身近なところで見つかるかもしれません。

### 調べてみよう

- 酢の中に入れて、石灰岩であることを確かめよう。
- 壁などに使われている岩石の中にゼノリスがないか、探してみよう。